

安心安全ネットワーク会議が緊急会議を開催



↑安心安全ネットワーク会議・緊急会議の様子

8月25日（火）、広野町安心安全ネットワーク会議が広野町役場で緊急会議を開催しました。同月に大阪で発生した中学生殺害事件の容疑者が福島県内の除染作業員だったことを受けたものです。会議では、①作業員などへの法令遵守指導を徹底すること、②作業員一人ひとりの状況把握を徹底すること、③反社会的団体などに所属する者を絶対雇用しないことを確認しました。

震災後初めて工業団地に企業進出



↑企業立地調印式の様子

8月26日（水）、広野町中央体育館で高木陽介経済産業副大臣ら立会いの下、広野町と株式会社レイスの企業立地調印式を行いました。東日本大震災後初めての広野工業団地への企業進出で、経済産業省「企業立地促進プロジェクト」の第1号案件でもあります。

町と町議会が合同で要望活動



↑町・町議会要望活動の様子

8月20日（木）、広野町と広野町議会は、東京都内の東京電力株式会社本店および復興庁を訪れ、合同要望活動を行いました。要望の内容は、①福島第一原子力発電所等の安全対策の徹底と着実な廃炉、適時適切な情報提供、②石炭ガス化複合発電（IGCC）設備の建設促進、③廃炉作業従事者の宿舍などの計画的な整備、④確実かつ実情に即した原子力損害賠償の対応、⑤将来を担う人材育成に対する支援です。

国勢調査の調査員説明会を開催



↑辞令交付を受ける国勢調査の調査員

8月25日（火）、広野町役場で平成27年国勢調査・調査員説明会を開催し、遠藤町長が調査員に総務大臣の辞令を手渡しました。今回の調査は東日本大震災後初めての国勢調査となり、またインターネットによる回答を導入しています。

学生らが浅見川で24時間水質調査



↑浅見川で採水する福島高専の学生

8月11日（火）から12日（水）にかけて、福島工業高等専門学校（福島高専）の学生らが長畑地区集会所と浅見川で24時間水質調査を行いました。調査方法は、午前10時から翌日の午前10時まで夜通し1時間おきに川の水を採集して、有機物量や濁りなど9項目を測定しました。福島高専は、地元の特定非営利法人浅見川ゆめ会議と連携して浅見川の再生に取り組んでいて、機関紙「かじか通信」を定期発行しています。

敬老会を開催



↑敬老会の様子

9月8日（火）、広野町中央体育館で平成27年度広野町敬老会を開催し、高齢者の皆さんをお祝いするとともに、金婚（結婚50周年）を迎えた10組の夫婦を表彰しました。また、広野町社会福祉協議会などから、町内最高齢者（101歳）と満85歳以上の227人に記念品が贈られました。

殉職消防団員・殉難巡査慰霊祭を挙行政



↑殉職消防団員・殉難巡査慰霊祭の様子

8月16日（日）、広野町と広野町消防団は、町内の寺院で殉職消防団員・殉難巡査慰霊祭を開催し、関係者約30人が出席しました。矢内光正消防団長、遠藤町長が追悼の言葉などを述べ、遺族代表の根本耕一さんが謝辞を述べました。

幼稚園に積み木の寄贈



↑幼稚園での積み木贈呈式の様子

9月4日（金）、新日鉄住金エンジニアリング株式会社から広野幼稚園に積み木の寄贈があり、2人の園児が代表で受け取りました。同社は、災害廃棄物等減容化処理施設の事業者です。